

全国で一斉に「平和憲法を守るための緊急アクション」香川でも改憲や戦争に反対訴える

運動もひろがれば良いと思う」（40代男性）、



「こんなにくさくさん」戦争反対』『主権者は私たち』との声が聞かれて心強いし、幸せだ」などと語りました。デモカレンター（DEMO CAREN DER. J.P.）によると、4月8日のデモ行動は、163カ所の集計で約5万人が参加し、YouTubeなどのライブ視聴は約7万人（合計12万規模）となりました。

平和憲法を生かす香川県民の会が街頭宣伝

取材にこたえた参加者は、「初めてデモに参加したが、みんな一人ひとり平和を叫んでいて、改めて平和な日本や世界をつくりたいと感じた」（10代女性）、「香川でも、（ペンライトデモ）ないかなと思ったらあったので参加したくなった」（60代女性）、「政治的関心がひろがり、もっとこの

生まれたら戦争だった 戦前・戦後を振り返りつつ 元中学校教員 河田 敬一郎

6)全国教研への参加や退職勸奨をはねのける闘い

不登校」でもありました。何年か前に100歳近い元教員の女性から「先生のおかげで長いこと務めることができたので、今は年金がよけもらえとる」と声をかけられました。当時、香川県中を走り回って退職勸奨をはねのける闘いをしたことが報われたようでうれしかったです。今は産休や育児休暇が充実して、労働条件が改善されましたが、昔は自分のお金で子守さんを雇って勤務していました。これも長い間の香教組などの要求で勝ち取ったものです。



6)全国教研への参加は高松市では研修で参加できませんでした。北海道教研に研修は難しいので、年次休暇で参加しようとしたが、年休も取らせない、欠勤簿に名前を書くように求められました。最初は勤務校の校長に、次は町の教育長に、最後はお寺の印綬まで使って「北海道教研に行くのをやめよう」と圧力をかけられました。干渉に屈せずに参加しましたが、それほど執拗に止めたのは、教研のレポートが「いじめ・



トクしまし た。アメリカやイスラエルによる国際法や国連憲章違反の一方的なイラン攻撃の

わが町は今

日本共産党高松市議会議員 藤沢やよい

高松市では、物価高騰が暮らしと営業を直撃し、商店街の衰退や中小零細企業

帯が納期までに払えない深刻な状況です。物価高で暮らしが大変な時に先の12月議会会で下水道使用料金を今年の6月から約3割値上げを決定。この間、塩江分院の病床が廃止され、奥の湯



高松港や高松空港の軍事利用も進められ、市民が戦争に巻き込まれる危険性があります。今こそ、国の悪政から住民の命と暮らしを守る市政が求められています。

2日、トランプ米大統領がアメリカ国民に向けて演説を行った。終戦に向かうか？そんな思いは打ち砕かれ、さらに攻撃を激化させて。

しないが、直ちに供給は滞らないので当面は安心いただける。ただ述べられている。しかし「在庫量は言えませんが、しばらくの間不足はないから、安心してほしい」と言われても、それで安心できるものではない。国内

府の手のひらに乗っているのが問われている。政府がつかんでいる物資の項目も、全体の量も明らかに足りないのに、安心だけ押し付けるようなことはやめるべき。

勇気りんりんエイッセイ 参議院議員 白川よう子

医療現場は深刻な事態に。上野厚労大臣は記者会見で、厚労省が行った医療資材のヒアリングの結果を受け、在庫量は公表

33万人余の透析患者をはじめ、患者にとって生死に関わる事態だ。

は日本関連船舶のホルムズ海峡通過を認める用意があることを報じられている。国民の命を守る先頭に立つ厚労大臣として、高市首相にイ

は、なんとしても回避しなければならぬ。イランのアラグチ外相

平池逆流裁判 現状無視の政治的判決

約一年つづいた裁判の判決が2月27日にあり、「証拠不十分」として私たちの訴えをすべて棄却するとい

う不当なものでした。

私たちは30余点の文書、写真の証拠を提出し、住民の不安の解消を【4面に

